

和(なごみ)シリーズ

和(なごみ)

和(なごみ)抹茶入り

和(なごみ)黒



お茶の持つ味と香りを

最大限に引きだし

時間をかけ

ていねいに仕上げました



往診をねぎらいくるる新茶かな

(甲府)横田義雄

作者は医師。同時句に「診終えて新茶頂く経過よし」がある。往診の患者の経過は良好。「苦勞極めた診察を終えて、家族の差し出す喜びの新茶。豊郁と新鮮な季節の香りではない。」

道尋ね湯茶に与る小春かな

(大月)武川幹雄

道に迷って尋ねると、農家は三時のおやつ時間で、縁側は家族の団樂。「まあ、いっは」とお茶をさそわれる。見知らぬ者になんと親切な。辺りはほかほかと、玉のような小春日和。お茶がありがたい。」

百人に点茶さばけり秋祭

(甲府)藤原時男

収穫期を終えた、報恩のための里祭。「吉野さま」と、地元の有志の人達が茶の湯をふるまってくれる。手きわよく、身こなしもすつきりと美しい接待者。それにしても百人とは大変。神様も喜びである。」

菩提寺に茶粥を啜る十夜かな

(甲斐)石川凡夫

十夜は浄土宗の、陰暦十月十日をばさんで行われる念仏法要。先祖代々傳授した菩提寺での法要のあと、茶の煎じ汁に炊いた粥を入れた茶粥のご馳走。先祖もこうしていただいたのであると茶粥。なつかしい。」

稲架組みて家族で畦の茶に憩う

(大月)湯沢正典

稲を刈り取った後しつらえる稲架木。稲を乾燥させるためにこれに掛ける。一段落したのであると、家族全員畦に集まり休憩を取っている。大きな土瓶がひっきりなしに行き交っている。お茶がおいしい。」

佳作

名月や虫の音を背に茶会席

(甲州)古屋 福治

正座して玉露いたたく菊の宿

(富士河口湖)伊藤 文字

古茶新茶香満つ茶屋奥深し

(身延)小林 利典

秋高し野に身を任せ点茶受く

(都留)磯村 桂泉

旅疲れ番茶ばい冬座敷

(市川三郷)河西五十鈴

仕舞風呂上がり番茶で更く夜長

(笛吹)大森 隆

駅弁の熱き煎茶や冬の旅

(甲府)米山 正雄

新年を一家団樂汲む茶かな

(都留)川上 恵治

長き夜や濃き茶を入れて新刊書

(都留)宮澤 繁子

煎茶の香匂う夜長の書に耽る

(大月)湯沢 正枝

新茶の香友情繋ぐ定期便

(都留)尾崎己代子

花野中句情ほつほつ煎茶汲む

(甲府)三枝 風樹

冬の朝なにはさておき濃き御茶を

(都留)長田美智子

次回作品募集のご案内

●次の応募締切は三月三十一日(水)消印有効になります。

●テーマは、寒い中でお茶や紅茶が親しまれるシーンを表現した俳句を募集します。

●応募頂いた作品の中から優秀な作品には素敵なプレゼントを用意しています。

●発表は年四回新聞にて発表します。

●選者は県内で俳句活動を行われている渡辺柳風先生にお願いいたします。

(先生には選考にあたり表現上の添削もお願いしております。ご了承下さい)

●ハガキで愛和園本店まで郵送していただくか、左記直売店までお持ちください。お一人様何点でも応募できます。●応募いただく作品は未発表の物に限ります。また、応募作品は返却いたしません。●作品には応募者の住所、氏名、年齢、電話番号をご記入ください。ペンネームで応募される方はペンネームの下に(本名を括弧で囲んでください)。

味と香りのミニミニケージョン



直売店 ■太田町本店 ■ジョイ店
■リバーシティ店 ■湯村店

●応募いただく個人情報は入賞作品のプレゼント発送に利用します。また、愛和園からの季節の知らせにも利用させていただきます。必ずしも必要でない方は、その旨応募時のハガキ裏面に記入願います。この目的以外での個人情報利用は行いません。